

マクロ経済学 期末試験

2008年7月25日実施

問題1 (10点)

「流動性のわな」を説明せよ。

問題2 (10点)

所得	200	300	400	500	600	700
消費	140	180	220	260	300	340

消費が所得の1次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得を Y 、消費を C とする。

$$C=30+0.4Y$$

$$C=60+0.4Y$$

$$C=30+0.6Y$$

$$C=60+0.6Y$$

問題3 (10点)

資本の限界効率に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

- 1 投資は、資本の限界効率が利子率を下回る時に行われる。
- 2 投資が多くなされるほど、資本の限界効率は下がっていく。
- 3 企業家の予想が楽観的になると、資本の限界効率関数の傾きは緩やかになる。
- 4 企業家の予想が悲観的になると、資本の限界効率関数は上方へシフトする。
- 5 資本の限界効率関数は、企業家の予想によっては変化しない。

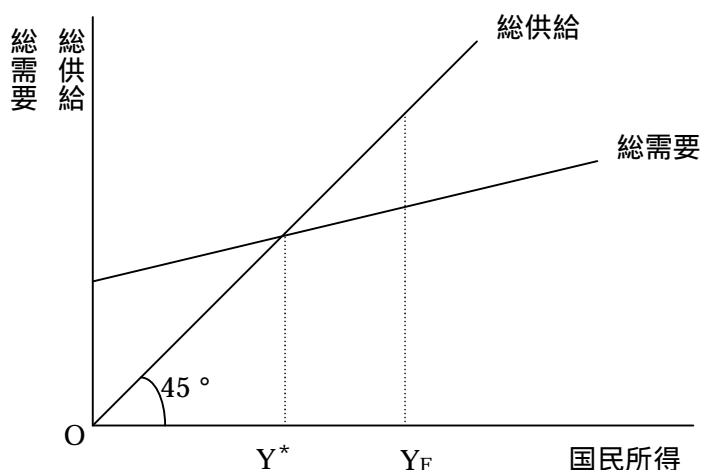
【市役所・平成11年度】

問題4 (10点)

図は国民所得と総供給、総需要の関係を表したものである。ここで Y^* は均衡国民所得、 Y_F は完全雇用国民所得であり、 Y_F は 500 兆円である。また、投資を 100 兆円とし、消費関数を $C=0.5Y + 100$ (単位：兆円) とする。

このとき、 Y_F に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。ただし、政府部門は考慮せず、総需要は消費と投資からなるものとする。

【国家二種・平成 10 年度】



1. Y_F においては、インフレ・ギャップが生じており、その金額は 100 兆円である。
2. Y_F においては、デフレ・ギャップが生じており、その金額は 100 兆円である。
3. Y_F においては、インフレ・ギャップが生じており、その金額は 50 兆円である。
4. Y_F においては、デフレ・ギャップが生じており、その金額は 50 兆円である。
5. Y_F においては、インフレ・ギャップもデフレ・ギャップも生じていない。

問題5 (10点)

ある経済が不完全雇用状態にあるとする。この経済の IS-LM 曲線に関する記述のうち、妥当なものはどれか。

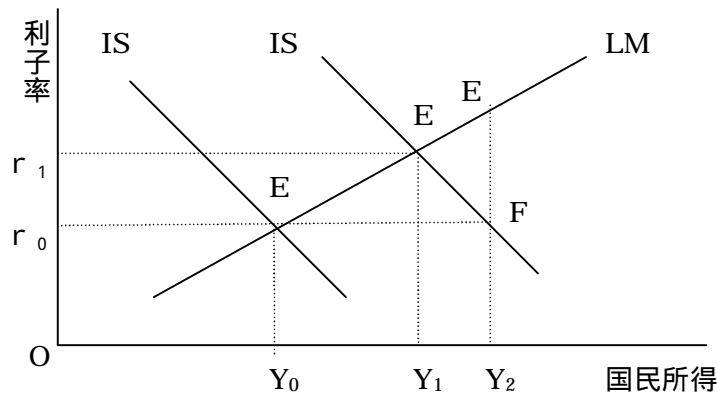
ただし、特段の条件設定がない場合には、IS 曲線は右下がり、LM 曲線は右上がりであるものとする。

- 1 投資の利子弾力性がゼロである場合、IS 曲線は水平になる。
- 2 投資の利子弾力性が無限大である場合、貨幣供給を増やしても均衡利子率は変わらない。
- 3 貨幣需要の利子弾力性がゼロである場合、LM 曲線は水平になる。
- 4 政府が財政支出を増加した場合、均衡利子率は低下する。
- 5 流動性のわなにおいては、財政支出の増加は均衡利子率を低下させる。

【国家 種・平成 10 年度】

問題 6 (10 点)

下図は、国債が市中消化され、政府支出が増加したために IS 曲線がシフトするようすを描いたものである。下文の空欄ア～ウに該当する語句等の組み合わせとして妥当なものは、次のうちどれか。



政府支出がなされる前の均衡国民所得が Y_0 で、完全雇用国民所得である Y_2 に比べ $Y_2 - Y_0$ だけ国民所得が不足しているとする。そこで、政府は国債を発行し、IS 曲線を IS から IS にシフトさせることにした。IS 曲線を IS から IS にシフトさせるためには、この経済における限界消費性向を c とした場合、政府支出を だけ増加させればよい。

しかし、F 点は、IS 曲線上の点ではあっても LM 曲線上の点ではないので、実物市場の需要を均衡させてはいても、貨幣市場の需要は均衡させているわけではない。利子率が r_0 のままで国民所得が Y_2 に増大すれば、貨幣に対する取引が増え、貨幣に対する需要が供給を上回って利子率が上昇する。利子率の上昇は を減少させるので、経済は F 点から 点に移動する

	ア	イ	ウ
1	$(1 - c)(Y_2 - Y_0)$	投資	E
2	$(1 - c)(Y_2 - Y_0)$	消費	E
3	$Y_2 - Y_0 / 1 - c$	投資	E
4	$Y_2 - Y_0 / 1 - c$	消費	E
5	$1 - c / Y_2 - Y_0$	消費	E

【地方上級・平成 8 年度】

問題7 (10点)

マクロ経済モデルが次のように与えられるとき以下の設問に答えなさい。

消費関数 $C = 20 + 0.8Y$

投資関数 $I = 320 - 16i$

貨幣需要関数 $L = 0.2Y + 300 - 8i$

貨幣供給量 $M = 400$

均衡国民所得 Y_0 はいくらになるか。

【国家種・平成7年度】

- 600
- 700
- 800
- 900
- 1000

問題8

ある国の経済が、

$Y = C + I + G$

$C = 110 + 0.5Y$

$I = 90 - 80r$

$L = 100 + 0.5Y - 20r$

$M/P = 200$

$G = 20$

$\left(\begin{array}{l} Y : \text{国民所得}, C : \text{消費} \\ I : \text{民間投資}, G : \text{政府支出} \\ r : \text{利子率}, L : \text{実質貨幣需要} \\ M : \text{名目貨幣供給量}, P : \text{物価水準} \end{array} \right)$

で示されるとする。政府支出 G が 70 に増加したとき、民間投資はクラウディング・アウトによりどれだけ減少するか。

- 1 20
- 2 40
- 3 60
- 4 80
- 5 100

問題 9 (10 点)

ある国の経済が次のモデルで示されている。

$$Y = C +$$

$$C = 20 + 0.4Y$$

$$= 100 - r$$

$$L = 100 + 0.4Y - r$$

$$M = 100$$

$$\left(\begin{array}{l} Y : \text{国民所得}, C : \text{消費}, I : \text{投資} \\ r : \text{利子率}, L : \text{実質貨幣需要} \\ M : \text{名目貨幣供給} \end{array} \right)$$

物価水準 P が伸縮的であるとき、この経済の総需要曲線は次のうちどれか。

- 1 $P = 200 / (Y - 20)$
- 2 $P = 100 / (Y - 20)$
- 3 $P = 200 / (Y - 40)$
- 4 $P = 100 / (Y - 40)$
- 5 $P = 100 / (Y - 60)$

【国税専門官・平成 8 年度】

問題 10 (10 点、無記入は 0 点)

この授業に関する感想を書いてください。